

平成26年10月17日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(平成26年7月～9月期実績、平成26年10月～12月期見通し)

《1》 調査時点 平成26年9月5日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
117企業 (回答率78.0%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	対象	回答	
製造業	24	2	2	2	2	9	8	8	6	4	4	22
建設業	27	2	0	3	3	13	8	5	4	3	3	18
小売業	35	10	8	3	3	13	9	8	5	2	2	27
飲食業	20	6	5	2	2	5	4	6	6	1	0	17
宿泊業	23	8	4	6	5	8	6	/	/	/	/	15
サービス業	21	2	2	1	1	11	9	4	3	3	3	18
合計	150	30	21	17	16	59	44	31	24	13	12	117

《3》 調査項目

- ①売上高
- ②仕入単価
- ③採算性
- ④資金繰り
- ⑤景況感
- ⑥従業員の人数
- ⑦直面している経営上の問題
- ⑧今後の取組み

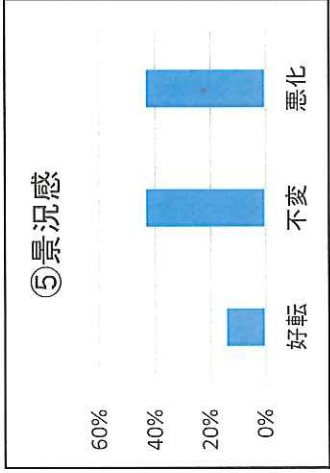
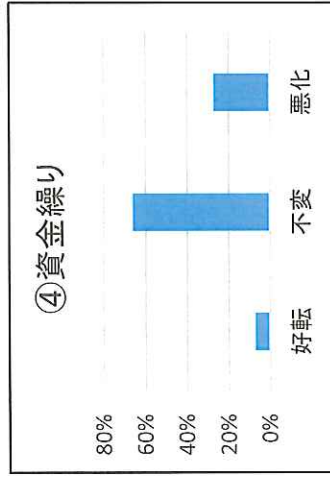
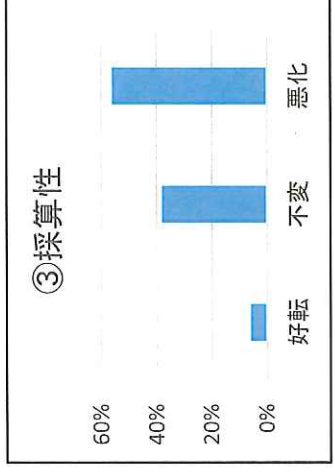
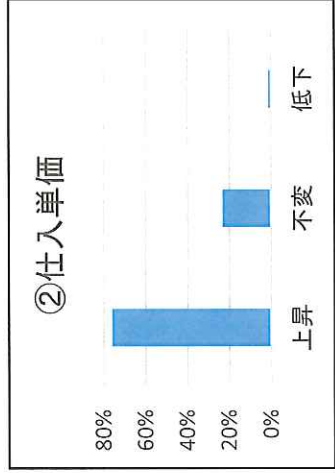
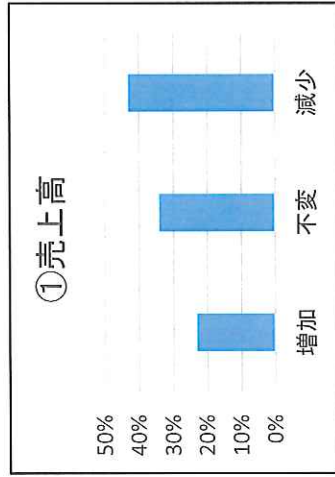
【平成26年7～9月期実績】

(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲12→)▲10(前期差2ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。 業種別売上高DIは、製造業、小売業、飲食業、宿泊業が上昇し、建設業、サービス業が低下した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、(前期78→)67(前期差11ポイント減)となりプラス幅が減少した。 業種別仕入単価DIは、飲食業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、小売業、サービス業が低下した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲34→)▲41(前期差7ポイント減)となりマイナス幅が拡大した。 業種別採算性DIは、飲食業、宿泊業が上昇し、製造業、建設業、小売業、サービス業が低下した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲32→)▲20(前期差12ポイント増)となりマイナス幅が縮小した。 業種別資金繰りDIは、製造業、小売業、宿泊業、サービス業が上昇し、建設業、飲食業が低下した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲17→)▲28(前期差11ポイント減)となりマイナス幅が拡大した。 業種別の景況感DIは、製造業、小売業が上昇し、建設業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下した。

【平成26年10～12月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲27となり17ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別売上高DIは、建設業が上昇し、製造業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が低下する見通し。
(2)	全業種の仕入単価DIは、71となり4ポイントプラス幅が拡大する見通し。 業種別仕入単価DIは、建設業、小売業、サービス業が上昇し、製造業が横ばいで、飲食業、宿泊業が低下する見通し。
(3)	全業種の採算性DIは、▲35となり6ポイントマイナス幅が縮小する見通し。 業種別採算性DIは、建設業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業が低下する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲27となり7ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別資金繰りDIは、建設業が上昇し、宿泊業が横ばいで、製造業、小売業、飲食業、サービス業が低下する見通し。
(5)	全業種の景況感DIは、▲30となり2ポイントマイナス幅が拡大する見通し。 業種別の景況感DIは、サービス業が上昇し、製造業、建設業、小売業、飲食業、宿泊業が低下する見通し。

【1】前年同期比
前年同期（平成25年7月～9月）と比べた今期（平成26年7月～9月）の状況

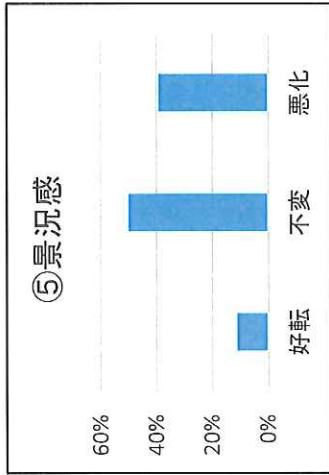
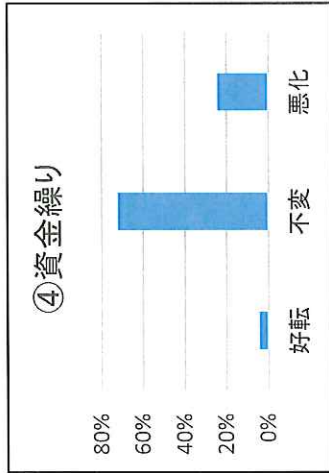
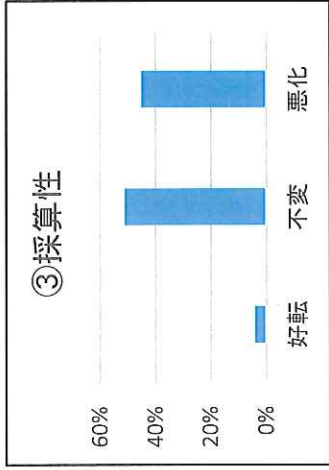
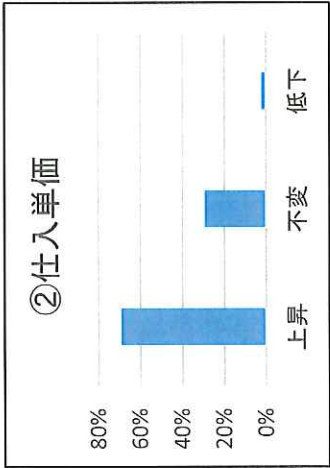
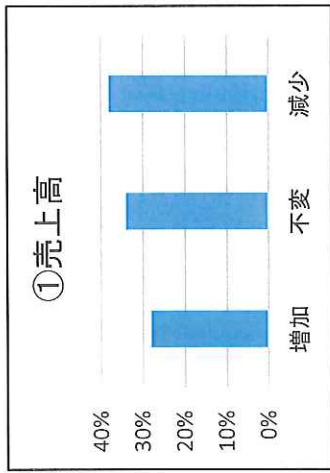


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲20	▲5	▲39	▲15	0	▲27	▲39
仕入単価	75	81	83	65	65	100	66
採算性	▲50	▲49	▲56	▲38	▲35	▲67	▲61
資金繰り	▲20	▲20	▲21	▲11	0	▲38	▲29
景況感	▲29	▲14	▲33	▲26	6	▲64	▲47

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比
前期（平成26年4月～6月）と比べた今期（平成26年7月～9月）の状況

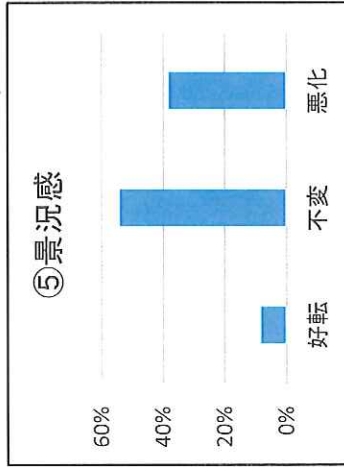
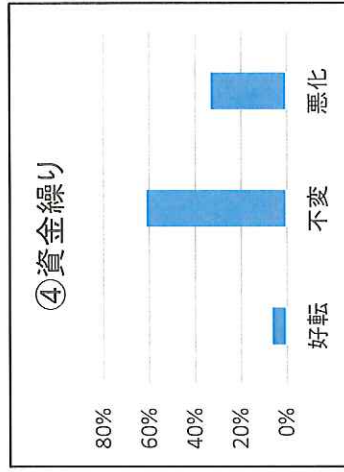
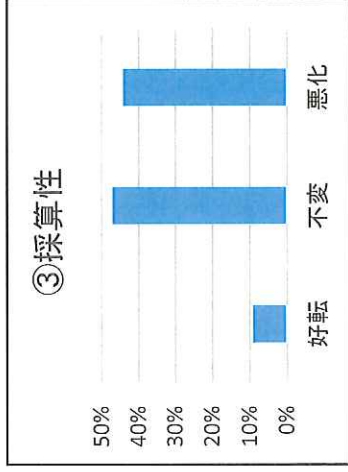
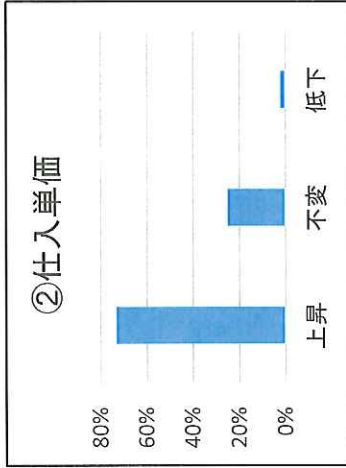
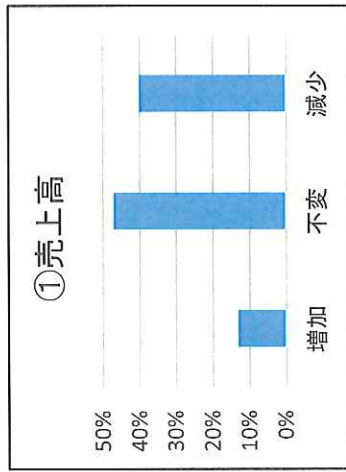


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲10	9	▲49	▲11	17	6	▲28
仕入単価	67	71	81	54	75	86	47
採算性	▲41	▲35	▲41	▲33	▲18	▲60	▲56
資金繰り	▲20	▲18	▲28	▲15	▲7	▲33	▲29
景況感	▲28	▲18	▲32	▲31	▲5	▲29	▲56

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】 来期の見通し
 今期（平成26年7月～9月）と比べた来期（平成26年10月～12月）の見通し



【全業種・業種別D I】

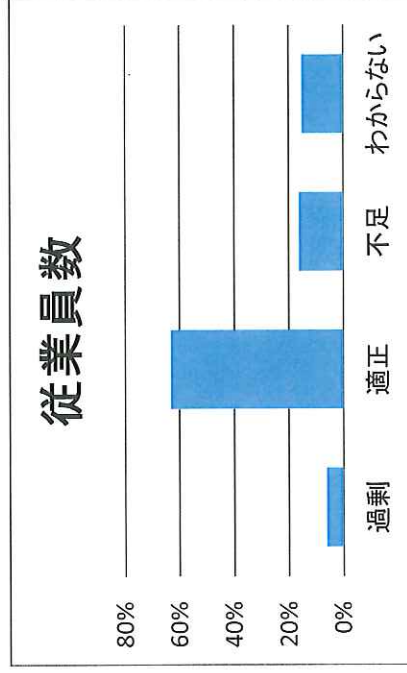
	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲27	▲8	▲45	▲22	▲18	▲40	▲39
仕入単価	71	71	89	70	63	73	62
採算性	▲35	▲45	▲39	▲17	▲17	▲53	▲44
資金繰り	▲27	▲28	▲26	▲28	▲12	▲33	▲39
景況感	▲30	▲32	▲35	▲34	▲12	▲33	▲33

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について

【全業種】

従業員の人数	件数	比率 (%)
過剰	7	6
適正	74	63
不足	19	16
わからない	17	15
合計	117	100



【業種別】

従業員の人数 (件数)	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
過剰	3	0	1	1	2	0
適正	14	9	19	13	6	13
不足	3	3	4	3	4	2
わからない	2	6	3	0	3	3
合計	22	18	27	17	15	18

【5】直面している経営上の問題点について

【全業種】

直面している経営上の問題点	件数	比率 (%)
消費者（製品）ニーズ変化への対応	35	30
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	45	38
必要な人材の雇用確保	16	14
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	16	14
事業資金の借入難	5	4
合計	117	100

【業種別】

直面している経営上の問題点（件数）	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
消費者（製品）ニーズ変化への対応	4	4	8	7	4	8
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	15	8	7	7	6	2
必要な人材の雇用確保	2	4	4	1	3	2
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	0	2	8	0	1	5
事業資金の借入難	1	0	0	2	1	1
合計	22	18	27	17	15	18

【6】今後、取り組んでいきたいこと

【全業種】

今後、取り組んでいきたいこと	件数	比率 (%)
販路開拓 (新市場開拓・海外展開等)	37	33
業務の効率化・仕事のみえる化	34	30
人材育成・社員教育	23	20
消費税増税対策・会計管理の見直し	18	16
就業規則・労務管理体制の見直し	1	1
合計	113	100

【業種別】

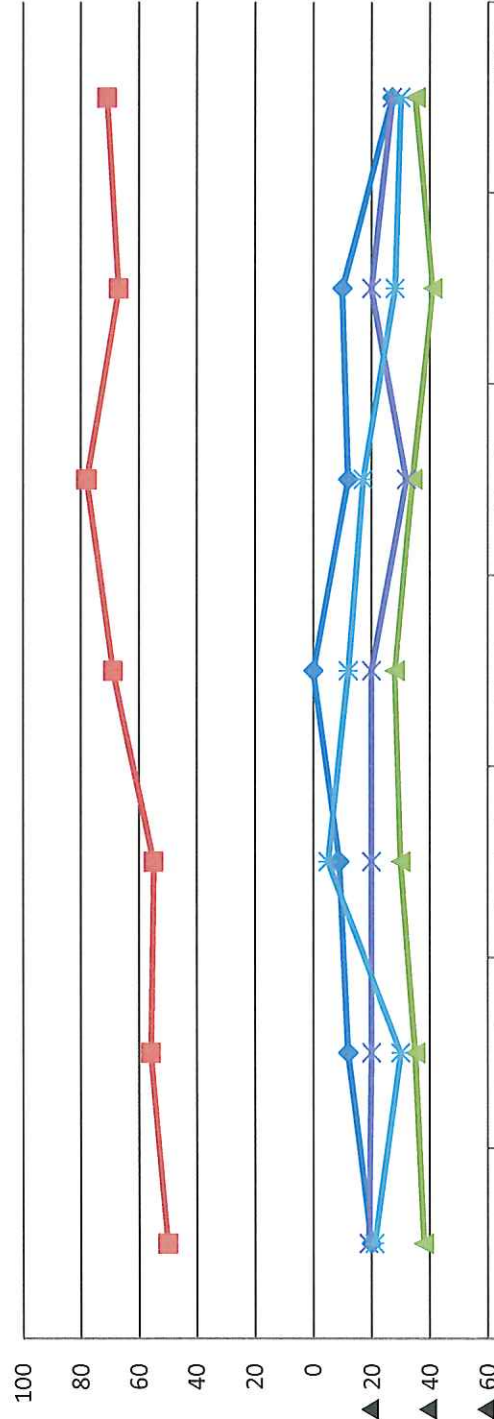
今後、取り組んでいきたいこと (件数)	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
販路開拓 (新市場開拓・海外展開等)	7	1	10	5	6	8
業務の効率化・仕事のみえる化	6	10	7	5	2	4
人材育成・社員教育	8	4	5	1	4	1
消費税増税対策・会計管理の見直し	0	2	3	5	3	5
就業規則・労務管理体制の見直し	0	0	1	0	0	0
合計	21	17	26	16	15	18

【7】自由コメント

1	日本全体の地方と規制緩和、市町村合併の失敗です。
2	アンケートに信憑性が有るのでしょうか。
3	外国人観光客が増えている事への対応（言葉、商品の表示方法等）に取組んでいかなければならない。
4	これだけ自然災害で皆さんがレジャーに出かけてくれるか？夏も台風でさっぱりでした。カニのじきでもどんな大雪になるかが心配ですし、消費税のことも今年は不安です。
5	人材の確保と育成が今後の課題。
6	外国人の急増に対する従業員の社内教育が急務。

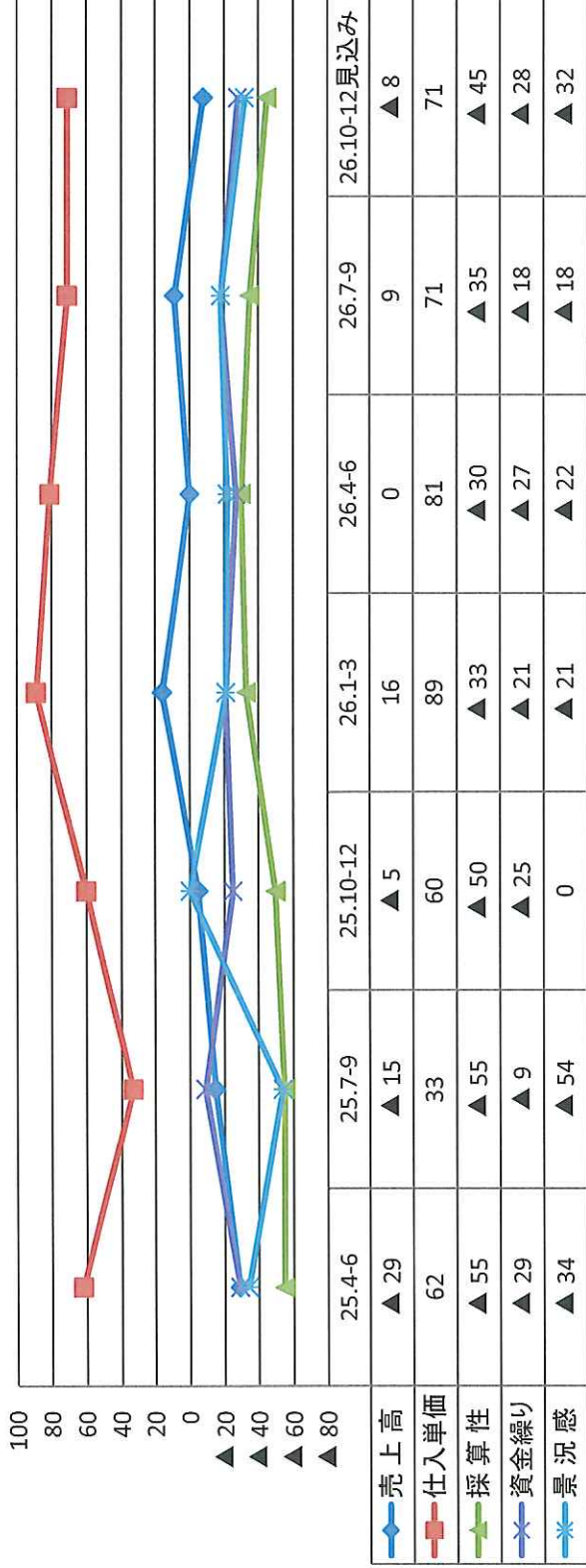
平成25年4月～平成26年12月(見込み)までの豊岡市商工会管内景気動向調査結果

全業種DI推移

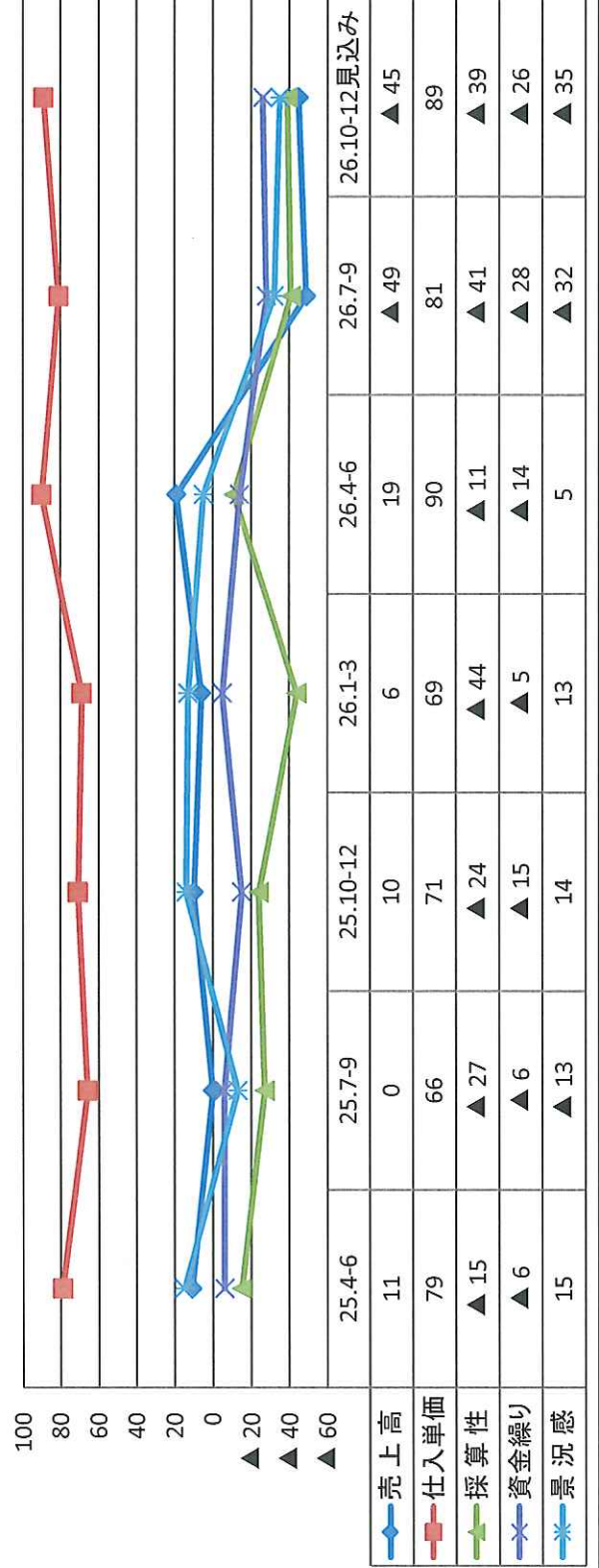


	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12見込み
売上高	▲ 20	▲ 12	▲ 9	0	▲ 12	▲ 10	▲ 27
仕入単価	50	56	55	69	78	67	71
採算性	▲ 38	▲ 35	▲ 30	▲ 28	▲ 34	▲ 41	▲ 35
資金繰り	▲ 19	▲ 20	▲ 20	▲ 20	▲ 32	▲ 20	▲ 27
景況感	▲ 21	▲ 30	▲ 5	▲ 12	▲ 17	▲ 28	▲ 30

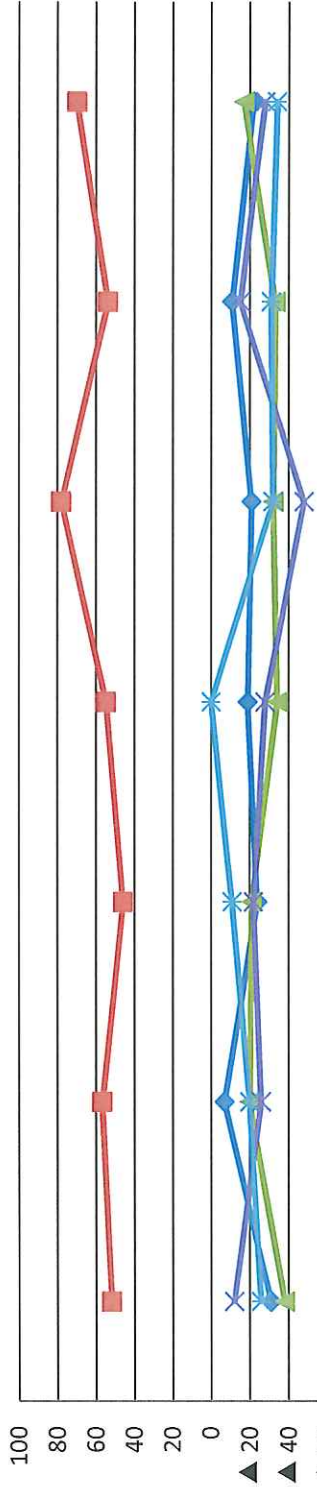
製造業DI推移



建設業DI推移

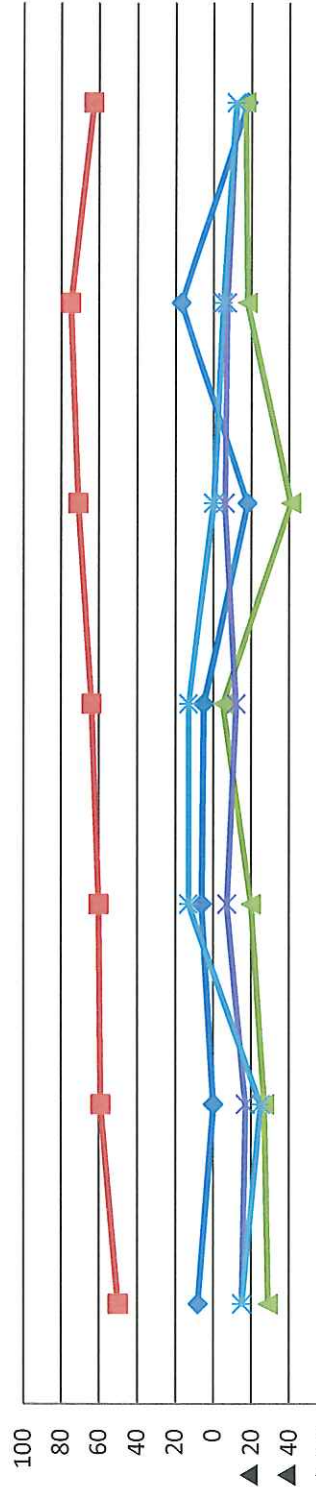


小売業DI推移



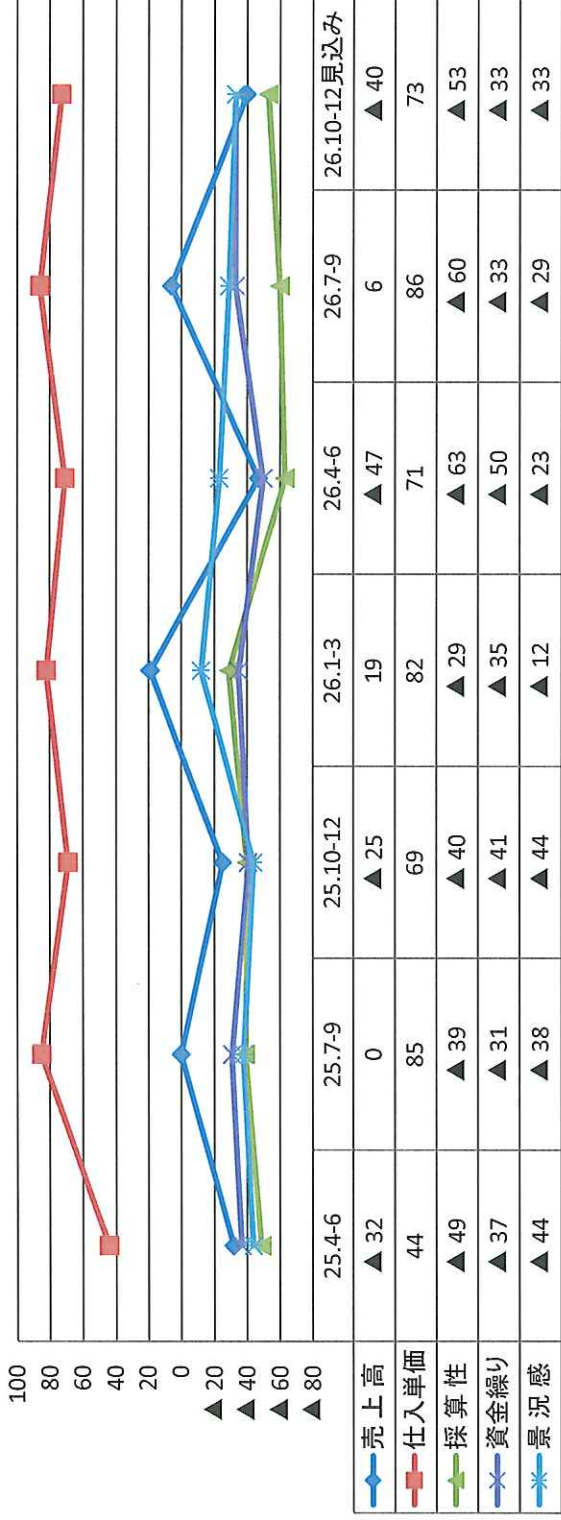
	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12見込み
売上高	▲ 31	▲ 7	▲ 24	▲ 19	▲ 21	▲ 11	▲ 22
仕入単価	52	57	46	55	78	54	70
採算性	▲ 38	▲ 20	▲ 21	▲ 34	▲ 32	▲ 33	▲ 17
資金繰り	▲ 12	▲ 26	▲ 22	▲ 28	▲ 48	▲ 15	▲ 28
景況感	▲ 26	▲ 20	▲ 11	0	▲ 32	▲ 31	▲ 34

飲食業DI推移



	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6	26.7-9	26.10-12見込み
売上高	8	0	6	5	▲ 18	17	▲ 18
仕入単価	50	59	60	64	71	75	63
採算性	▲ 29	▲ 27	▲ 20	▲ 5	▲ 41	▲ 18	▲ 17
資金繰り	▲ 15	▲ 17	▲ 7	▲ 12	▲ 6	▲ 7	▲ 12
景況感	▲ 15	▲ 25	13	13	0	▲ 5	▲ 12

宿泊業DI推移



サービス業DI推移

